

ウツデイエイジ



これからの木造建築は造林木で
北海道における
カラマツ製材の生産内容 どのように変化
パルプ材から造作用集成材をつくる

ウッドエイジ

木材の研究と普及

第40巻・通巻 468 号

目 次

これからの木造建築は造林木で…………… 1 A
—ニュージーランド・ラジアータパインの紹介—

北海道における

カラマツ製材の生産内容 どのように変化… 1
パルプ材から造作用集成材をつくる(1)…………… 9
—新しい製造システムの概要, 製材から
欠点除去工程までの試験結果について—
ヨーロッパみである記……………14
—西洋きのこ事情—
(その6)

技術のおたずねにこたえて…………… 8

[内装に木質材料を使ったのですが]

内外の話題……………13

[冬季オリンピックを支えた木材]

林産試ニュース……………20

—スイス 穀物貯蔵倉庫—

この種の校倉造りの特徴は、伝統的にバルコニー
へ壁の外側から階段をとっていることである。